

改めまして、皆さん、おはようございます。

2019年も終わろうとしています。学校は、4月始まり3月終わりなので、年末年始は、通過点なのですが、せっかくでするので、この1年を振り返るのもいいでしょう。皆さんにとって、2019年は、いかがでしたか。私は、皆さんのおかげで、とても楽しい1年でした。躰高の校長であることの幸せを、今年もしみじみとかみしめているところです。ただ個人的に、この1年で何が変わったといえば、明日人間ドックに行くのですが、その数値が変わるくらいで、何の成長もしていない自分が恥ずかしいです。皆さんは、どうでしたか。何か変わりましたか。

躰高の1年を振り返る意味で、皆さんには、授業アンケートや躰高アンケートなどのいろいろなアンケートに協力していただきました。その結果をよく分析し、躰高をもっと良くするためにどうすべきかをよく考えて、皆さんには「躰高に入って良かった」、中学生には「躰高に入りたい」と思ってもらえるような学校に、なお一層していきたいと思えます。ご協力、ありがとうございました。

さて、12月22日は、冬至でした。去年も触れましたが、一年で昼が最も短い日です。ということは、冬至を過ぎると、一日一日、日が長くなります。まだしばらくは、かかると思いますが、これから、朝、学校に来るときとか、夕方、学校から帰るときに、「あれ、今日はなんだか、昨日より明るくなっているな。」と、感じることでしょう。私は、寒い中にも、日に日に春の訪れを感じるができる、これからの季節が結構好きです。太陽の力が最も弱まる冬至を過ぎると陰が極まり陽に転じるということで、この日を境に運氣も上昇し、物事が良い方向に向かうと信じられています。

3年生、いよいよ、センター試験が近づいてきました。なかなか志望校との距離が縮まらず、悩んでいる人もいることでしょう。でもこれから、ドンドン運氣は上昇し、物事が良い方向に向かいます。何より、現役生はこれから、指数関数 $y = 2^x$ のグラフのように、力がついてきます。 $y = (1/2)^x$ ではだめですよ。自分を信じて、年末年始、焦らずコツコツと、ムリ・ムダ・ムラがないように、計画的に取り組んでください。

そんな3年生に、そして1年生、2年生にも、漫画「あひるの空」九頭竜高校男子バスケットボール部の花園千秋くんのセリフを紹介します。

「天井を眺めていても仕方あるまい。

俺達は目の前の階段を一段ずつ地道に上がってくしかないんだ」

「たとえ翼があっても空がなければ鳥は飛べん」

「あひるの空」は、2004年から連載が始まり、まだ続いています。この秋アニメで、初めてアニメ化されました。「なんで今頃？」とは思いますが、大人の事情でしょうか。身長149cmの主人公 車谷空くんを中心に、高校のバスケ部を通じて、キャラクター達の成長と葛藤を描いた作品です。私は、特にスポーツ漫画が好きでよく読むのですが、それにしても、これほど、主人公のチームが負け続けるスポーツ漫画も珍しい。九頭竜高校が勝ったのは、コミック19巻、連載から4年経ってからです。作者の日向武史（ひなたたけし）先生は、九頭竜高校がインターハイ出場をめざし、県予選を勝ち続けているにもかかわらず、39巻の冒頭で

「俺たちはI・Hに行くことはできなかった」

と、結末を自らネタバレされたり、35巻以降、単行本の表紙画を描かずに、タイトルロゴだけにするなど、とてもチャレンジ精神に富む漫画です。連載は、現在休載中ですが、アニメは、第4期まで予定されているそうです。とても楽しみにしています。

そして今日一曲もアニメ「あひるの空」オープニングテーマ

the pillowsの「Happy Go Ducky」。

「飛べない翼でも

僕らは羽ばたいて空を感じたい

なりたい自分になりたい

今できないことも明日はわかんないぜ

悪あがきしよう

Happy go ducky!」（作詞：山中さわお）

秋アニメも終わり、冬アニメが始まります。1学期の終業式で紹介した「Dr. STONE」も第1期の2クールで、石器時代から携帯電話までたどり着きました。よろしければ、また熱く語り合ひましょう。

ではまた、1月8日に、元気な姿でお会いしましょう。

“I wish you all a Merry Christmas and a Happy New Year. See you. “